総括質問

総括質問とは、新年度の施政方針または市長就任時に行われる所信表明に対する質問で、２人以上で構成する会派による代表制質問のことです。

今定例会では、２月20日の本会議において、５人の議員が会派を代表して総括質問を行い、市長の施政方針に対して考えをただしました。

ここに掲げたのは、その質問・答弁の大要です。総括質問の原稿は、質問者本人が執筆しております。総括質問の模様は、議会ホームページからごらんいただくことができます。

なお、施政方針の内容は、市ホームページでごらんいただけます。

▲満開に咲く喜沢の桜

健康寿命を延伸させるための施策は

「新たに「健康ポイント制度」を導入する」

平成会　秋元 良夫　議員

議員　県が発表した市町村別健康寿命で、本市は下位に位置している。健康寿命の延伸策として、どのような事業を考えているか。

市長　早急に取り組むべき最重点課題として認識している。新たに「健康ポイント制度」を導入するなど、若い世代からの健康増進と、高齢者の健康維持をさらに強化していく。

▶健康寿命を延ばすためには適度な運動も必要です（リズム体操発表会　提供：戸田市社会福祉協議会）

今後の財政運営

議員　今後、財源の確保が一層困難になると考えるが、財政運営上の課題認識と進め方は。

市長　公共施設の改修に多額の費用が必要となるなど、本市の財政状況は、一層厳しくなると考える。事業の優先性や緊急性を考慮し、健全な財政運営に努め、自立的で持続可能なまちづくりを進めていく。

男女共同参画社会の実現に向けて

議員　男女共同参画センタービリーブの閉館後、男女共同参画社会の実現に向け、どのように取り組んでいくか。

市長　講座等の啓発や情報発信は、再整備される上戸田福祉センターで引き続き実施していく。これまでの施策を後退させることなく、市政に女性の視点をより多く取り入れていく。

議員　女性の起業支援を積極的に進めていく考えは。

市長　女性起業家が活躍できるようにビジネス環境を整備する。

今後の高齢者福祉施設の整備方針は

「実情に応じた整備計画を策定する」

志政クラブ　石井 民雄　議員

議員　今後、超高齢社会を迎えるが、特別養護老人ホームを初めとする高齢者福祉施設の整備計画は。

市長　本年３月に「とだ優和の杜」が開設され、特別養護老人ホームの待機者数が緩和されることから、推移を見守りたい。その他の施設は、本市の実情に応じ施設・在宅・地域密着型の各サービスのバランスをとった整備計画を策定する。

▲ＩＣＴ学習教材を活用した家庭教育の様子（イメージ）

家庭教育の支援

議員　新たに家庭でも活用できるＩＣＴ学習教材を整備し、家庭教育の支援を行うが、その具体的な活用法は。

市長　26年度から、児童生徒の学力向上につなげるため、ＩＣＴによる学習環境整備をさらに進め、インターネットに接続したパソコンやタブレット端末を使用すれば、家庭でも学校と同じように、ドリル学習を行うことができるようにする。

微小粒子状物質ＰＭ2･5への対応は

議員　ＰＭ2･5は、小さい微粒子のため肺の奥深くまで入りやすく呼吸器系や循環器系への影響が懸念される。市民を健康被害から守るための注意喚起はどのように行うのか。

市長　ＰＭ2･5の濃度が日平均70マイクログラムを超える恐れがある場合は、県の注意喚起情報をもとに防災行政無線で市民に周知する体制を整えている。

大災害に備えて、共助の仕組みづくり強化を

「災害時要援護者支援制度の確立で」

公明党　三浦 芳一　議員

▶水害ワークショップ（喜沢１丁目）

議員　防災対策の基本は「自分の命は自分で守る」という「自助」。その上で「共助」の仕組みづくり強化にさらなる支援策の推進を。

市長　災害時要援護者支援対策として「おねがい会員」「まかせて会員」の登録呼びかけなど、「共助」の仕組みが機能するよう取り組む。

議員　①川岸地区の改善・整備目標は②公園に防災機能を完備せよ。

市長　①平成30年度までに災害時に有効なオープンスペースとなる広場や避難路となる通り抜け道路の整備を計画②防災力向上に配慮した公園づくりに努める。

健康寿命の延伸を

議員　「データヘルス計画」に基づいた分析で、健全な保険財政と健康寿命の延伸を。

市長　※レセプトや特定健診データ等を分析して対応していく。

いじめ未然防止対策を

議員　仲間外れ・無視・陰口など暴力を伴わないいじめもある。児童生徒すべてを対象に、いじめゼロへ未然防止対策を推進せよ。

市長　「戸田市ではいじめを絶対に許さない」との決意で、基本方針を策定し対処する。

防犯カメラの設置を

議員　犯罪抑止、犯人確保に街頭防犯カメラの設置を望む。

市長　検討していく。

※ レセプト…診療報酬明細。